

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	蔵王野鳥の森自然観察センター
指 定 管 理 者 の 名 称	特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会
施 設 所 管 部 課 (室)	環境生活部自然保護課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成24年 4月～平成29年 3月	指定管理者	特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会	
平成29年 4月～令和 4年 3月	指定管理者	特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会	
令和 4年 4月～令和 9年 3月	指定管理者	特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会	

※ 管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会
	所在地	宮城郡利府町神谷沢字菅野沢41
指 定 期 間	令和 4年4月1日～令和 9年3月31日(5か年)	
募 集 方 法	☒ 公募 ☐ 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター	
所 在 地	刈田郡蔵王町遠刈田温泉字上ノ原162-1	
設 置 年 月	平成6年 4月	
根 拠 条 例 等	自然観察センター条例	
設 置 目 的	優れた自然と多種多様な野生動植物との触れ合いを通じて県民の自然保護思想の向上に資するため、自然観察センターを設置する。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	6, 149. 99㎡
	構 造	鉄筋コンクリート造 一部2階建
	内 容	1階 504.37㎡ 2階 623.70㎡
開 館 (所) 日	◇ 月曜日(休日を除く)を除く日 ◇ 休日の翌日(休日, 日曜日, 土曜日を除く)を除く日 ◇ 12月28日から翌年の1月4日までを除く日	
開 館 (所) 時 間	午前 9時00分 ～ 午後 4時30分	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	(1)自然保護思想の普及及び啓発に関すること。 (2)自然環境の保全に関する学習に対する支援に関すること (3)蔵王野鳥の森の自然環境についての情報の収集及び提供に関すること。 (4)自然観察センターの維持管理に関する業務 (5)上記の他、自然観察センターの設置目的を達成するために知事が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	☒ 有 ☐ 無
	利用料金の名称	入館料

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (6 年度) (A)	前 年 度 (5 年度) (B)	評価対象年度 (6 年度) (C)		
開館(所)日数	304 日	299 日	304 日	100.0%	101.7%
延べ利用者数	10,000 人	6,736 人	7,943 人	79.4%	117.9%

※ 対象施設が複数ある場合は施設ごとに記入

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (6 年度) (A)	前 年 度 (5 年度) (B)	評価対象年度 (6 年度) (C)		
有料入館者	4,000 人	3,159 人	3,700 人	92.5%	117.1%
無料入館者	6,000 人	3,577 人	4,243 人	70.7%	118.6%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	10,000 人	6,736 人	7,943 人	79.4%	117.9%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (6 年度) (A)	前 年 度 (5 年度) (B)	評価対象年度 (6 年度) (C)		
県指定管理料	25,300	26,564	25,980	102.7%	97.8%
利用料金収入	1,000	1,022	1,203	120.3%	117.7%
その他	1,150	1,262	1,381	120.1%	109.4%
収 入 計 (a)	27,450	28,848	28,564	104.1%	99.0%

(2) 支出

人件費	16,445	16,617	16,484	100.2%	99.2%
施設管理費	3,535	3,041	3,266	92.4%	107.4%
事業運営費	6,895	8,492	8,055	116.8%	94.9%
その他	575	734	764	132.9%	104.1%
支 出 計 (b)	27,450	28,884	28,569	104.1%	98.9%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-36	-5	#DIV/0!	13.9%
前期繰越収支差額	6	42	6	100.0%	14.3%
次期繰越収支差額	6	6	1	16.7%	16.7%

※ 自主事業の収支実績

収 入	1,150	1,262	1,381	120.1%	109.4%
支 出	575	734	765	133.0%	104.2%
収 支	575	528	616	107.1%	116.7%

6. 評価対象年度(6年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

主な視点	項 目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
					評価		評価
経済性	施設・設備の維持管理業務の実施	「施設・設備の維持管理計画」に基づき、法定・定期点検など特殊業務は外部委託とし、職員は日々の設備・安全点検を行いました。 ○野鳥の森散策路については、強風、大雨、大雪などのあとは即時、通常は定期的に点検を行い、枯損木、危険木、落枝の撤去などを行いました。 ○軽微な損傷の修繕、また大規模修繕までの暫定安全対策等を職員により行いました		点検、巡視により危険箇所を早期に発見し、建造物や人に影響を及ぼさないよう、早めの対策を行うことができました。		施設・整備の維持管理として、敷地内及び散策路の安全管理を行い、特に散策路については、定期点検のほか、強風、大雨、大雪などの後に即時点検し、枯損木、危険木、落枝の撤去などを行っている。 また、施設の軽微な修繕や大規模修繕までの暫定安全対策等は職員が実施するなど、利用者の安全確保・維持管理が適切に実施されたと認められる。	
	収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり。		物価高に対応するよう、サービスの質を落とさぬように節約につとめ、こまめに電気を消す、効率よく冷暖房利用するように努めました。		経費節減に努めるとともに、収支と費用対効果を考慮し、適正に管理運営を行ったものと認められる。	
効率性	管理運営体制	所長1名、次長1名、準職員7名、パート2名で管理運営にあたりました。 ①教育機関の自然教室の場として、蔵王自然の家とも協力体制を継続し、野外教室の活動に有効に利用していただけるよう広報しました。 ②自然体験や観察を行うイベントを強化し、生物多様性を学べる施設として活動しました。 ③定期的にガイドの研修を行い知識の向上を図りました。		少人数でも効率よく対応できるよう、スキルの高い人員を配置することで、繁忙期も対応することができました。		入館者数全体では目標を下回っているものの、広報や自然体験・観察イベントの強化など、工夫を凝らし、来館者促進に努め、前年度より多くの来場者数となっている。 また、スキルの高い人員を配置し、繁忙期でも効率よく対応するなど、適切な管理運営体制であったと認められる。	
	人員体制	正規	2人	非正規	9人		
	運営業務(ソフト事業等)の実施	常設展示以外の館内の展示を季節ごとに入れ替え、また蔵王の成り立ちや情報など最新の展示に入れ替えました。 生物多様性に特化した展示や、野鳥のくらしを学ぶなどのイベントの結果の展示など、お客さまと作りあげることのできる展示を行いました。		展示の入れ替えにより、リピートされたお客様にも、改めて楽しんでいただけるようになりました。		常設ではない館内展示の季節ごとの入れ替えや、最新の展示への更新のほか、生物多様性に特化した展示など、来館者と作りあげることのできる展示を行うなど、来館者促進に努め、適切に運営されたと認められる。	
有効性	利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり。		事業計画の入館者数には達しませんでしたが入館者数、入館料ともに、前年度比ではプラスで終わることができました。 県内外の学校等の利用を増やせるように取り組んでいます。		事業計画の入館者数には達しなかったものの、利用者数が前年度比で増加し、利用料金収入及び自主事業等収入のいずれもが計画額以上となっており、集客に対する自助努力の効果が認められる。	
	利用者サービスの向上	○X、HP、また緑保全団体のSNSを活用し、広く、野鳥の森の自然を知ってもらえるよう、タイムリーな発信を心がけました。 ○地域情報誌、広報誌にてイベントの告知を行いました。 ○無料開放日「4月29日(開館記念日)、5月10日～同16日(愛鳥週間)、10月26日～27日(東北文化の日)」を実施しました。		野鳥の森入口掲示板、受付などに、通行止めや、危険、注意情報などを掲示し、ご来館くださった皆様に直接今の状況をお伝えするなど、安全にご利用いただくことができました。 センター入口の看板には館内でどのようなことができるのか、前の道路を通過する皆様にも見えるようにし利用者の増加を図りました。		X、HP、また緑保全団体のSNSを活用し、野鳥の森の自然についてタイムリーな情報発信を行ったほか、危険・注意情報の掲示や館内でできることの案内など、利用者増加及びサービス向上に努めたと認められる。	
	利用者の苦情、要望等の把握とその反映	利用者の意見、要望等は「ご意見カード」に記入いただき、41件ご記入いただきました。かねてよりピータ様から年間パスポートが欲しいとのご意見があり、5回で1回招待券をプレゼントするスタンプカードを発行する対応としました。 ほぼ楽しく滞在されたという感想のご意見でした。		1年間で17枚のスタンプカード回収となり、スタンプカードがあることによって、リピートしてくださるお客様もあり、利用者サービスの向上にもつながりました。 また一人一人丁寧な応対を心がけた結果、「楽しかった、また来たい」という意見の記入につながったと考えます。		ご意見カードの意見や要望等に、適宜対応状況を知らせるようしており、適切な対応であったと認められる。	
その他	県民の平等利用	利用者が平等に利用するために、特定の団体や利用者に対して有利不利にならないように、どの利用者、どの団体に対してもサービスが均一になるよう対応しました。		職員にも意識を高めてもらい、どの利用者にも概ね均一なサービスが提供できました。		利用者の公平性に配慮されており、多様な利用者・団体に対して、サービスが均一となるよう、職員の意識向上を図るなど、良好な運営体制であったと認められる。	
	安全対策	○受付のそばにAEDを配置し、職員全員がAEDの技能講習を受けています ○消防訓練は年二回実施し、通報、避難、消火訓練を実施しています。 ○防火管理者は職員6名が受講し、乙種第4類危険物取扱者も6名が所持しており、緊急時の連絡先や近隣の病院等の連絡先を事務所内に掲示して、緊急時には遅滞なく対応できるようにしております。		○消防計画は職員が変わる都度、作成しなおし消防署に提出しました。 ○自然災害も含めた消防計画を作成しました。		消防計画に基づいた防火管理と消防訓練を年二回実施し、自然災害を想定した防災計画を作成して運用しており、適切な管理運営体制により、来場者の安全確保に努めたと認められる。	

主な視点	項 目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価	
その他	個人情報の保護	蔵王野鳥の森自然観察センターの管理に関する協定書第22条を厳守して、イベント参加者等からの個人情報の収集は本人の理解を得た上で実施しました。特にご意見カード協力者やイベント参加者の個人情報は集約し所長を個人情報保護管理者に定めて責任を明確にしたうえで管理保管をしました。	イベント参加者やご意見カード、スタッフの個人情報などは金庫に施設して保管し、個人情報を書かれた保管不要な紙は直ちにシュレッダーで裁断するようにしました。		個人情報の管理について、適切に取り扱われたと認められる。	
	自主事業の実施	ことりはうす30周年のイベントを行いました。親子で生物多様性、生態系を学べるイベントを強化しました。幅広い年齢層に野鳥の森を楽しんでいただけるよう、対象年齢に合わせたハイキングイベントを実施しました。館内では、木を使ったクラフトコーナーを引き続き実施しました。	イベント回数 74回 参加人員のべ 721名の開催となりました。天気の影響により中止となるイベントもありましたが、どのイベントも安全に終了することができました。館内の工作コーナーは雨天時でも楽しめるイベントとして、親子に楽しんでいただくことができました。		運営事業と同様に、利用者の要望や意見を取り入れ、親子向けのイベントや対象年齢に併せたハイキングイベントなど、適切に事業を実施したと認められる。屋外でのイベントは、天候に左右されるため、セッティングが難しいと思われるが、さらに活発に展開し、知名度の向上と利用者増加につなげていただきたい。	
	その他の取組	ことりはうすの立地が観光地であることもあり、蔵王町の農林観光課、生涯学習課などと連携を密にしました。また、外部評価委員会を設置、近隣の施設等から委員を委嘱し客観的な立場から意見をいただき施設運営に役立てております。	蔵王町への学校の教育旅行の誘致などにことりはうすの見学等を入れてもらい、また、生涯学習課の蔵王町カードの取り組みに参加したことにより、他施設からことりはうすへのお客様の取り込みができるようになりました。近隣施設との連携を取りつつより良い施設運営につなげることができました。		自治体や近隣施設との関係を密にし、協力体制を構築するなど取り組み、入館者数が前年度と比較して増加しており、適切な取組が実施されたと認められる。	
総 合 評 価			たくさんのお客様に楽しんで、笑顔で帰っていただくことができました。これからも安全対策、職員のスキルアップをより一層高めながら、よりよい運営に取り組んでいきます。		誠実に管理運営されており、努力と工夫も十分評価に値する。生物多様性を学ぶことのできる親子イベントの実施や、季節に合わせた展示の実施など、イベントや展示の内容を工夫しており、今後も当該施設の利用と認知度向上に向けた取組に期待したい。	

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評 価	評 価 の 考 え 方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評 価	評 価 の 考 え 方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項 目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	1.野鳥の森の木々は年数を経過しており、枯損木が非常に多く、掛かり木、落枝が枝にかかる、など安全に安心して森を歩ける状態ではなくなっているが、処理には危険が伴うものばかりで、散策路の安全確保が問題となっている 隣の施設の蔵王自然の家でも野鳥の森を多く利用しており、影響が大きく早急な対応が望まれる 2.散策路の手すり、橋、階段など、劣化しており、暫定的な対応はしているが、枯損木の問題に次いで危険な状態となっている 3.館内展示設備が経年劣化し、修復不可能で使えないまま1年以上放置された状態となっており、お客様に迷惑をかけている	多くの創意工夫により、安全安心な施設運営・維持ができています。施設や遊歩道の修繕改修計画では、より安全・快適な利用者へのサービス向上のための維持・改修を実施していくこととしており、安全確保と利便性向上に努めていくので、施設管理者としても協力いただきたい。引き続き、様々な手法を取り入れ、施設の周知・利用拡大に努めてほしい。